【松江ろう学校】令和７年度　学校評価（A：達成できている　B：概ね達成できている　C：あまり達成できていない　D：全く達成できていない）

重点目標	学部等	具体的な取組	評価指標	目標値	評価項目	年度末結果	今年度の状況（◎達成　△課題）	次年度に向けて【①改善点　②重点を置きたいこと】	学校運営協議会委員より
（１）生き生きと学び合える学校へ 「協働的な学び」の推進と「個別最適な学び」の充実	幼稚部	・個々の興味関心や学びに応じた遊びの設定やより丁寧な関わりについて共通理解を図りながら幼児が周りの人とやりとりをしながら遊びを深めていける保育実践をする。	【教員 幼 アンケート回答】 「達成」「概ね達成」の割合 ・個々の興味関心や学びに応じた遊びの設定やより丁寧な関わり（共感、気持ちの受けとめ、発信モデル、幼児への質問）について共通理解を図りながら、幼児が周りの人とやりとりをしながら遊びを深めていける保育実践ができた、と実感できた割合。	80%	・幼児一人ひとりの学び方や教員の関わり方について共通理解を図りながら、幼児が周りの人と豊かなやりとりをし、遊びを深めていける保育実践ができたか。	A　3人　A　50% B　3人　B　50% C　0人　C　0% D　0人　D　0% 100%	・幼児が新しい言葉に出会う際に音声と文字、手話等、複数の手段をあわせて丁寧に提示した。 ・幼児の言語表現を復唱して確認したり、動作を模倣して気持ちを共有したりして、その時の気持ちを汲み取るようにした。 ◎子どもたちの遊びが子どもたちだけでどんどん広がり、大人とのやりとりだけでなく子ども同士のやりとりにも広がりが見られた。 ◎子どもたちから表出される語彙が増え、様々な方法で表現するようになった。 ◎幼児がこちらの伝えたいことを理解してうなずいたり、納得して動いたり、自分が伝えたいことを伝えられるようになったりし、落ち着いて過ごすことができるようになった。	①個別指導の充実と集団遊びの確保 ・体幹を鍛える遊びの工夫。 ・失敗や間違いに対し立ち直る（レジリエンス）力の育成。 ②幼児のもつ力をさらに高め、言語力やコミュニケーション力の育成をはかる。	・近隣の地域（古志町など）や小学生には伝わっているが、その保護者にもっと知ってほしいと思う。【アンケートのコメントより】 ・SNSを活用し、マスコミも使って広報されている。教職員は地域に入っていき、広めることも大事だと思われる。【アンケートのコメントより】 ・年々ＷＥＢやSNSを活用した情報発信がより活発に行われていることを感じる。せっかく取り組まれているので、知りたい情報が伝わっているのか、もっと発信すべきことはないのか等の効果検証・見直し等もいずれ必要になるのではと思う。【アンケートのコメントより】
	小学部	・各学習活動において言葉を大切にしながら、協働的な学びを効果的に取り入れ、学びの充実を図る。	【教員　小 アンケート回答】 「達成」「概ね達成」の割合 ・体験的で、協働的な学びの実践と、授業づくりにおいて効果的な支援の検討をとおして、授業のねらい達成に近づくことができたと実感できた教員の割合。	80%	①学習グループの工夫や、交流学習、地域活用型学習による体験的で、協働的な学びの実践ができたか。	A　6人　A　42.9% B　8人　B　57.1% C　0人　C　0% D　0人　D　0% 100%	・少人数の中でも、集団での学習を確保できるように来年度も検討していく必要がある。交流についても交流ありきでなく、学習のねらいを明確にした上で計画できると良い。 ・来年度もグループ編成を工夫して、児童の学び合いを促せるとよい。 ◎１年を通して、児童の実態に応じて各教科や生活単元学習、道徳や自立活動なども集団を意識した授業グループを編成した。それぞれの学習で児童が意識し合うなど、学び合いの姿が多く見られた。 ◎各学級において、地域の協力を得ながら学習を進め、児童の興味関心や考える姿を引き出すことができた。 △地域を活用する時数を確保するため、今後も計画的に授業づくりをしていく必要がある。	①②各児童の実態や授業の進み具合を把握しつつ、年度途中でも柔軟にグループをつくれる雰囲気が大切であった。引き続き教員間で気軽に相談していけると良い。 ①②地域での学習は児童の深い学びにつながる取り組みになっている。計画的に進めつつ、柔軟に地域とつながれるようにしていきたい。	・失敗や間違いを恐れる子どもも(大人も)多い中、失敗や間違いは起こる前提でレジリエンス力を育成するという視点は非常に大切だと思う。体はもちろん、心もたくましく成長されることを願っている。【アンケートのコメントより】 ・カフェ、手話講座に地域の方々をお招きいただき、「おいしいコーヒーをお客様に」「手話を分かりやすく」という思いやりの気持ちをもって対応していただき、心地よい時間だった。この経験が更なる思いやりの気持ちの醸成につながるとよい。【アンケートのコメントより】
					②授業づくりにおいて効果的な支援について検討し、授業のねらい達成に近づくことができたか。	A　4人　A　28.6% B　10人　B　71.4% C　0人　C　0% D　0人　D　0% 100%	・クラスをまたいだ集団での授業で、定期的に教員の話し合いの場をつくり、必要なことを確認できたことが良かった。 ◎学部内で公開授業及び授業研究を行い、良かったところや課題点等を教員間で出し合い、共通理解を図った。また、教員間で実践を発表し合い、効果的な支援について話し合った。 △効果的な支援を授業のねらいと結びつけ、実践を継続していく必要がある。	①②学部での話し合い等で教員が話し合う場を設定しつつ、普段から児童の話をすることで、これからも効果的な支援について共有できると良い。また、授業研究を行うことで、ねらいにより迫っていけるようにしていきたい。	・人工内耳をつける子どもが増えているが、目に見えないもの、人の気持ちは分かりにくい。相手の気持ちを考える、慮ることが難しい。 →その部分へのアプローチを継続していきます。 ・１２０周年記念式典、かきばら祭に向けての取り組みはとても素晴らしかったと思う。得意なことを生かし、生き生きと活動されている姿が印象的だった。
	中学部	・教育活動全体をとおしたキャリア教育及び自立活動の指導の充実。	【教員 中 アンケート回答】 「達成」「概ね達成」の割合 ・生徒の特性や興味関心に応じた学習を設定し、 「①思いやりの気持ちをもって、仲間と対話したり活動したりする姿がみえた。 ②自分の目標に向かって、挑戦しようとする姿がみえた。」と教員が評価できる割合。	80%	①思いやりの気持ちをもって、仲間と対話したり活動したりする姿がみえたか。	A　0人　A　0% B　7人　B　88% C　1人　C　12% D　0人　D　0% 対話したり活動したりする姿がみえたと評価した割合 ８８%	◎学校行事や学部行事での協力、合同自立での意見発表ができた。また、相手の状況や気持ちを意識した関わりや、自分とは違う意見を肯定的に捉えたり、共感したりする姿が見られた。 △意見発表に留まり、「対話」にまで至っていない場面があった。また、コミュニケーション手段の多様性(手話の有無など)により、集団での対話が難しい生徒もいた。自分から積極的に関わろうとする意識がまだ弱い。	①思いやりのある行動に対し、教員がフィードバックを行う場を設ける。また、手話が苦手な生徒でも関われるよう、初歩的な手話活動を増やす。授業時数の精査を行い、無理のない範囲で対話の場面を設定する。 ②生徒が主体的に課題解決を図る授業づくり。楽しいイベントや集会を企画し、生徒同士が自然に関われる場を大切にする。	・キャリア教育とあるが、生徒のやりたいことと出来ることは異なる。例えばパソコンの仕事をやりたいと思っても、プログラミングのことなのか何なのか。言葉と想像とのミスマッチがあると思う。 →ここ数年はないが、以前はミスマッチもあった。情報提供をし、見学や体験を行い、自分で決定できるようにしている。離職した方の相談にはのっている。 ・寄宿舎で主体性を大事にしたいとのことだったがこれを任せたいというものはあるか。 →集会の司会など、生徒が考えて行うようにしている。
					②自分の目標に向かって、挑戦しようとする姿がみえたか。	A　0人　A　0% B　8人　B　100% C　0人　C　0% D　0人　D　0% 100%	◎キャリアパスポートを活用し、学習や検定、生活習慣の改善に目標をもって取り組めた。また、学期末の学部集会での振り返りにより、意識的に取り組む姿が見られた。個々の進路や課題に応じ、粘り強く挑戦する姿があった。 △自分で目標を見つけること自体に難しさを感じる生徒がいる。精神面や言動面での目標設定があまりなかった。	①年度初めにキャリアパスポートや進路学習のガイダンスを行い、目標が「将来」に繋がることを伝える。学部集会での目標発表と学期末の振り返りを効果的に連動させる。目標達成の過程や小さな成長を、より可視化・共有できる工夫をする。 ②自分の将来を見据えた目標設定（学習時間の確保など）の継続。ろう学校の先輩の話を聞く機会など、ロールモデルに触れる学習の設定。	・ICT機器の使用が増えており、これを推進していく部分はあると思うが、字を書かない、書くのが面倒という子どもも増えている。自分はICTに関わっているが、手書きを大事にしてほしいと思う。 →子どもたちが表出できるやり方（ICT機器の使用など）を大切にしながらも、書くことや意味が分かるということに取り組んでいきたい。 ・地域との関わりに苦手意識を持つ児童・生徒への働きかけも大事だと思われる。【アンケートのコメントより】 ・兎角、ろう者はゼロか１００かのようなところがあり、曖昧さの理解が難しい。そのためにきこえる人とのトラブルが生じる。中学部などは授業のフィードバックを５段階評価したりすることは良いと思われる。【アンケートのコメントより】
	高等部	・教育活動全体をとおしたキャリア教育及び自立活動の指導の充実。	【教員 高 アンケート回答】 「達成」「概ね達成」の割合 ・「①自己理解力、②自己決定力、③コミュニケーション力」を高めることができるような学習内容を、教育活動全体をとおして設定し取り組むことで、キャリア教育及び自立活動の指導の充実を図ることができたと感じる教員の割合。	80%	「自己理解力、自己決定力、コミュニケーション力」を高めることができるような学習内容を教育活動全体をとおして設定し取り組むことができたか。	A　10% B　90% C　0% D　0% 100%	◎様々な学習時間において、生徒の自己理解力やコミュニケーション力が高まるような学習内容を設定し、取り組むことができた。生徒自身が自分を見つめる時間となり、進路についてや自分にとって必要なことは何かなど、今後のことを考えようとする姿が見られた。 △総合的な探究の時間や特別活動の学習では複数人での学習集団を作ることができたが、教科学習は個別学習がほとんどあり、生徒同士がコミュニケーションをとることができるような学習場面を設定することが難しかった。	①教科学習において、学習内容によっては合同で活動ができそうなものは積極的に合同学習を組むようにする。 ②今年度の取り組みに加え、キャリア教育により重点を置き、進路や卒業後の生活について考えていけるような学習を実施する。	
	寄宿舎	・寄宿舎行事や日々の生活の中で、舎生自身が考え、他者と協働する経験をとおして、生活の充実を図る。	【寄宿舎指導員：アンケート回答】 「達成」「概ね達成」の割合 ・寄宿舎行事や日々の生活の中で、舎生自身が考え、他者と協働する場の設定、支援を行うことで、重点目標達成を実感できた寄宿舎指導員の割合。	80%	○寄宿舎行事や日々の生活の中で、舎生自身が考え、他者と協働する経験を通して、自他を大切にする気持ちを育て、生活の充実を図ることができたか。	A 2人　A　18% B 9人　B　82% C 0人　C　0% D 0人　D　0% 100%	◎舎生会の司会や書記、朝と夜の集いの司会を舎生に任せることで、自分で考えて発言することや他者の話を聞こうとする姿勢が身に付いてきた。 ◎舎生主体で舎生会を行うことで話し合いが活発になり、特に行事の場面で主体的な行動が増え、協力し合って活動する姿が多く見られた。 ◎入浴の時間や順番など、生活の中で気になることを舎生たち自身で話し合うことができた。 △他者のことを考えずに行動してしまったり、他者の意見や気持ちを受け入れにくかったりする場面がある。	①舎生たちが自分自身のことを知り、生活力を身に付けていけるように、個に応じた目標を設定し、一貫性のある支援を行う。 ②舎生たちが主体的に活動し、様々な経験を積み重ねていけるような場の設定。 ②他者の思いや良いところに気付き、お互いに思いやり、協力し合える集団作り。	
	生徒部	・保健指導、安全教育、人権教育、 食育等に 関する教育活動の実践	【実績評価】 ・『キラリ!タイム』 保健指導（性に関する指導）、安全教育、人権教育、食育の充実の中から２つ選び各学部、各学期２回は実施。	実績結果			◎各学部で学期に2回実施することができた。(保健指導、人権教育、食育の充実) ◎行方不明捜索訓練のマニュアルの見直しができた。 △児童会・生徒会の子どもたちの主体的な取り組み方 △学校生活アンケートの取り扱いの確認 △ヒヤリハットの校内校外の点検の必要性 △の3点を検討していく。	①学校生活アンケートの取り扱いの確認 ①生徒が主体的活動する生徒会 ②ヒヤリハット事例の発見と情報共有	

（２）信頼され、ともに歩む学校へ 開かれた学校づくりの推進	総務部	・PTA役員の名称変更やPTA総会を書面決議にすること等、PTA役員の負担感を減らす。 ・年度初めに事業部会を行い、保護者、教職員が参加しやすく、親睦を深められるような活動内容や日程を計画実施する。	【教職員】：アンケート回答 「達成」「概ね達成」の割合 ・PTA役員の名称変更やPTA総会を書面決議にすることで、PTA役員の負担感を減らすこととなったか。 ・保護者や教職員が参加しやすく、互いの親睦を深められるPTA活動となったか。	70% ※P役員のみアンケートを実施	・PTA役員の名称変更（会長、副会長→学部代表）やPTA総会を書面決議にしたことで、PTA役員の負担感を減らすことができたか。 ・保護者、教職員が参加しやすいPTA活動であったか。	・名称を変更したことで学部代表が同じ立場で協力、話し合い、業務分担ができ負担感が減った。親子活動は他の家族とも交流がもて、良かった。今後も続けたい。 ・各種研修会に参加し、学校外の情報や、地域の支援などを改めて知る機会となり有意義だった。 ・役員会などが夜間や休日であると参加しやすい。	◎「PTA会長」という名称をなくしたことで、学部代表と監事の業務の偏りが以前より少なくなった。役員会等を年3回実施。 ◎PTA総会議題を書面決議としたことで時間短縮となり、PTA研修会を同日に実施できた。 △休日の行事が少なくなり、保護者同士が集まる機会が減っている。各学部の参観日に控室や湯茶を準備し保護者同士が集う場を意図的に設けた。今後も工夫が必要である。また役員会についてもできるだけ参加しやすい日を検討する。	②PTA総会を引き続き書面決議とする。事業部会や学部懇談など、保護者同士が集まる時間を多くとる。 ②学部の参観日等に合わせて保護者会を実施したり、控室等を準備して保護者同士が話せる環境を工夫したりする。	・ブログやInstagramの発信をこまめに行っておられ、学校の様子がよく分かった。魅力化発信として効果的だと思う。 ・PTA会長の件（PTA役員の名称変更）は、大きなことに取り組まれたのだなと驚いた。また、当たり前にあることを変えることは大変なことではなかったかと思うが、保護者の皆さんとの対話を重ねられたのだなと感じた。これまでのことにとらわれず見直し・改革をすることは、何事においても大切であり、やってみようという行動をされていることは、生徒のみなさんにも良い影響があるように思う。裏側の部分ではあるが、このようなことをされていることたくさんの方に知っていただきたい。行事でなくてもこのような取り組みも可能な範囲でInstagramなどで発信しても良いのではと思う。【アンケートのコメントより】 ・学校は生徒たちの帰る場所になっているのか。進学した卒業生と在校生とがかかわると、卒業した後の自分のイメージができるのではないか？ ・仕事で失敗した方面のことも聞きたいし、障がい者枠で採用経験のある企業側の話もあっても良いのではないか。 →卒業後もイベントなどに来校されたり、メールをくださったりする方もおられる。今年度は進路研修会の中で卒業生の話を保護者や高等部生が聞いた。今後はこのような機会を計画的に取り入れたい。 ・（環境について）適切だと思うが、１点、門扉のところの水たまりを解消していただきたい。【アンケートのコメントより】 ・今年度は地震もあり、特に安全管理には苦労されたのではと感じた。【アンケートのコメントより】 ・卒業生の話や、報告会の開催、掲示物等で工夫されている点が理解できた。いずれ社会に出ていく生徒のみなさんの可能性を広げるために、範囲を広げて地域や企業も力になれたらと思う。【アンケートのコメントより】
	進路指導部	・進路学習を推進する一環として、それぞれに合った進路先や福祉サービスが選択できるよう、本人・保護者に情報提供を行う。	【実績評価】 ①PTA進路研修会の実施 ②学部懇談会での情報提供 ③進路だよりの発行（学期ごと） ④進路学習報告会の実施 ⑤進路に関する掲示の改善	実績結果			◎１２月に本校卒業生を招いて進路研修会を実施した。 ◎年度初めの中高学部懇談会で本校の進路指導・卒業後の進路先等について情報提供をした。 ◎１、２学期末発行済み。 ◎１学期に中学部は職場体験報告会、高等部は現場実習報告会を行った。 ◎中学部については職場体験について掲示している。高等部の掲示については、進学関連のものを３階エレベーター横に掲示した。	①進路決定に向けての取り組みの充実。 ②進路指導の流れを整備していく。	
	情報図書部	・ホームページを活用した情報発信を行う。	【実績評価】 ・ホームページの定期的 （月2回程度）更新	実績結果			◎月2回程度の更新をすることができた(ブログその他で「180件」、給食で「144件」計324件更新　2025年末時点)。 △今年度末に閉鎖する120周年限定ページの利活用について検討する。120周年ページを作成し、情報の性質に応じた「一般公開」と「参加者限定」を採用し、範囲を限定する発信ができた。	①新しい情報を発信するため、古い情報の削除や非公開化といった更新作業を定期的に実施する。 ②情報の安全性を保つため来年度も個人情報調査を実施し、家庭の了承のもと子どもたちの生き生きした様子を発信していく。	
	支援部	・『ろう教育研修テキスト』を改訂し、校内に配布すると同時に、地域の学校や関係機関で広く活用してもらえるうに、HPでの掲載方法や掲載内容を検討していく。	【教員　アンケート回答】 「達成」「概ね達成」の割合 ・『ろう教育研修テキスト』は、今後ろう教育について学び、理解を深めるきっかけとして役立つものに改訂されたか。	80%	・『ろう教育研修テキスト』は、今後ろう教育について学び、理解を深めるきっかけとして役立つものに改訂されたか。	改訂された 43% 概ね改訂された 50% あまり改訂されていない 7% 改訂されていない 0% 改訂できた・おおむね改訂された割合 ９３%	◎「最新のろう教育やそれに関わる情報を習得し続けていくための書籍やSNSの紹介」、「当事者のことを理解し、そこから学ぶことの大切さ」に力点を置き、改訂した。新たに追加した内容は、概ね高い評価だった。 △ろう教育の専門性の知見を校内外へ効果的に発信していく方法と、テキストの改訂を継続して取り組む方法の検討が必要である。	①ろう教育の専門性の知見を校内外へ効果的に発信していく方法と、テキストの改訂を継続して取り組む方法の検討。 ②　①についてのHP等の活用方法。	
	事務部	・信頼される学校運営の前提となる安心安全な環境のために、施設設備の維持、修繕や環境整備に努めるとともに、修繕箇所については優先順位をつけ効率的な予算執行をする。	【実績評価】 ・安全点検や定期点検等で報告のあった不具 合の箇所について、速やかに対応ができたか。	実績結果			下記の大型工事の他、施設の不具合個所については予算の範囲内で優先順位をつけ修繕することができた。 ◎トイレ一部洋式化工事 ◎厨房タイル張替え工事 ◎内運動場空調機増設工事 ◎厨房空調機更新工事 △地震の影響により対応に時間を要した。	①不測の事態が発生した場合も速やかに対応できるよう計画的に修繕を実施する。 ②引き続き施設設備の不具合個所については速やかに対応する。	
（３）互いに高め合い、支え合う学校へ 資質・専門性の向上	教務部	・教科指導等の目標設定や計画、評価等の作成について、情報提供をしていく。	【実績評価】 ・参考資料のアクセス環境の整備 （教務部発信のチャット開設、保存場所の明示、有効なサイトのショートカット整備など） ・説明資料等の発行（学期2回）	実績結果			◎参考資料のアクセス環境の整備として、教務部発信のチャットを開設して発信した。また教材データバンク内に、各種資料や有効なサイトのショートカットを整備するとともに、出前授業も含めてリンク集として一覧表を作成した。 ◎発信実績（2026.1時点） 教務だより3、紙媒体の説明資料を9、チャット発信30、学部会での周知を3回行った。 ◎発信したアーカイブをフォルダーに一覧表でまとめ、アクセスしやすいようにした。	①教務関係の事務処理や教育課程検討のスケジュールなど、転入してきた職員にも年度当初から見通しがもちやすいように資料を工夫したい。 ②受け手にとっての適切な情報量、内容、タイミング等を考慮しながら、教材研究等に役立つ情報を提供していきたい。	・重複の児童・生徒も増えており、聴力にも差があり、コミュニケーション手段も異なる中での教育は大変だと思われる。【アンケートのコメントより】 ・きこえない、きこえにくい児童・生徒は社会に出たら様々な障壁にぶつかるので、それに対応できるような支援が必要である。【アンケートのコメントより】
	研究部	・１・２学期に各学部研究会で、研究授業及び授業研究を行い、実践の記録シートを活用して授業の改善を図る。	【教員　アンケート回答】 「達成」「概ね達成」の割合 ・学部研究で実践の記録シートの活用を通した研究授業、授業研究が協働的な学びの推進に役立った教員の割合。	80%	学部研究で実践の記録シートの活用をとおした研究授業、授業研究は、協働的な学びの推進に役立ったか。	A 48.5% B 51.5% C　0% D　0% 100%	◎実践の記録シートを活用して授業改善ができたと多くの教員が実感している。また、回答したすべての教員が、研究授業、授業研究が協働的な学びの推進に役立ったと実感している。 △実践の記録シートについて、少数であるが活用できなかったという反省がある。また、シートに追加した「全体で共通して行う３つの手立て」について検証し全体に周知する。	①手話学習会、ワンポイント手話、新任者研修、オーディオロジー研究協議会は支援部から研究部に業務が移って２年間取り組んだ。研修（校内支援）ということで今後も業務を行うのかどうか、検討が必要である。 ②手話学習会についてフォームでのアンケート調査にてニーズが多いので月１回のペースで実施する方向で取り組む。	

令和７年度　松江ろう学校　学校評価（学校運営協議会委員）

回答欄A・B・C・D・Eのうち、お考えに合うものを○で囲んでください。

A：そう思う　B：おおむねそう思う　C：あまりそう思わない　D：そうは思わない　E：わからない

	評価の観点	A	B	C	D	E	コメント・意見等
1	本校の教育目標は、生徒の実態と保護者や地域の願いを踏まえたものになっていると思われますか。	7	2	0	0	0	・子ども達がとても意欲的に活動をしている姿をたくさん見させてもらいました。 ・いろいろな地域から児童・生徒は来るので、出身地の市町村との連携、情報共有が必要だと思われる。
2	本校の学習指導は、幼児児童生徒の実態に合わせて、適切に行われていると思われますか。	6	3	0	0	0	・本当に子どもたちに合わせて、工夫されていると思う。 ・重複の児童・生徒も増えており、聴力にも差があり、コミュニケーション手段も異なる中での教育は大変だと思われる。 ・1人ひとりに丁寧に寄り添って、学習指導をされている様子が分かった。
3	本校の生徒指導は、社会のルールやマナーを踏まえて、適切に行われていると思われますか。	6	3	0	0	0	・きこえない、きこえにくい児童・生徒は社会に出たら様々な障壁にぶつかるので、それに対応できるような支援が必要である。 ・日々の指導に加え、地域の学校との交流もされているので、ルールやマナーの大切さを体感することにつながると感じる。
4	本校の進路指導は、本人や保護者の願いを踏まえて、適切に行われていると思われますか。	3	6	0	0	0	・個々の児童・生徒の社会への適用能力に合わせて支援が必要だと思われる。 ・卒業生のお話や、報告会の開催、掲示物等で工夫されている点が理解できた。いずれ社会に出ていく生徒のみなさんの可能性を広げるために、範囲を広げて地域や企業も力になれたらと思う。
5	本校の施設設備の安全管理や環境整備は、適切に行われていると思われますか。	4	5	0	0	0	・学校の前を通る時、いつもきれいに整備されていて、職員の皆さんの児童生徒、学校に対する愛情を感じた。 ・適切だと思うが、１点、門扉のところの水たまりを解消していただきたい。 ・今年度は地震もあり、特に安全管理には苦労されたのではと感じた。
6	本校では、地域との関わりを大切にした学校づくりが適切に行われていると思われますか。	8	1	0	0	0	・子ども達、先生方が積極的に地域に出かけ、笑顔いっぱい、前向きな姿をたくさん見させてもらった。 ・学習発表会を拝見し、地域の方との関わりをとても強く感じた。 ・イベントや個人間のつながり(生徒や先生)といった大きな取り組みも細かな取り組みの両側面から行われていると思った。 ・地域との関わりに苦手意識を持つ児童・生徒への働きかけも大事だと思われる。 ・特にInstagramで取り上げられている記事で、地域の方をお招きされたり、地域に出かけて行かれる様子を拝見し、活発に行われていることを日ごろから感じている。生徒さんや地域の方のコメント(感想等)も一言記載があるとより伝わるように思う。
7	本校の教育活動に関する情報は、家庭や地域に十分伝わっていると思われますか。	3	6	0	0	0	・近隣の地域（古志町など）や小学生には伝わっているが、その保護者にもっと知ってほしいなと思う。 ・SNSを活用し、マスコミも使って広報されている。しかし、教職員は地域に入っていき、広めることも大事だと思われる。 ・年々ＷＥＢやSNSを活用した情報発信がより活発に行われていることを感じる。せっかく取り組まれているので、知りたい情報が伝わっているのか、もっと発信すべきことはないのか等の効果検証・見直し等もいずれ必要になるのではと思う。
8	学校運営協議会の資料や学校側の対応は、満足できるものでしたか。	7	2	0	0	0	・とてもわかりやすい資料の提示で、意見も言いやすかった。 ・事前に資料は準備されており、良い。 ・卒業式のご案内で出席者への礼状は送らないという事前案内がされたことは、ご配慮、また先生方の労働時間の削減にもつながり素晴らしいと思った。

【総合評価】

	この度の学校による重点目標の設定及び自己評価は、適切であったと思われますか。	5	4	0	0	0	・児童生徒、保護者による評価から適当であったと思う。 ・教職員が自らの教育実践を俯瞰して見ておられて良い。 ・いずれも丁寧に振り返りをされている点が印象的だった。特に達成できたことだけでなく、課題も多く挙がっており、先生方が熱心に取り組まれている様子が理解できた。

【その他】
・報道で松ろうの子どもたち、先生方を拝見する機会が多々あり、とてもいい雰囲気の学校であることが伝わってきた。報道の力を借りること、PRもとても大切だなと思った。来年もぜひ子どもたち、先生方、一緒に楽しく学んでいってほしい。
・先生方、保護者の方、生徒のみなさんが信頼し合い、学校運営をされているのがよく分かった。
・兎角、ろう者はゼロか１００かのようなところがあり、曖昧さの理解が難しい。そのためにきこえる人とのトラブルが生じる。中学部などは授業のフィードバックを５段階評価したりすることは良いと思われる。
・生徒の皆さんの力が発揮できるような内容で、一人ひとりが大切にされていることがわかる目標であると感じた。
・PTA会長の件は、大きなことに取り組まれたのだなと驚いた。また、当たり前にあることを変えることは大変なことではなかったかと思うが、保護者の皆さんとの対話を重ねられたのだなと感じた。これまでのことにとらわれず見直し・改革をすることは、何事においても大切であり、やってみようという行動をされていることは、生徒のみなさんにも良い影響があるように思う。裏側の部分ではありますが、このようなことをされていることをたくさんの方に知っていただきたい。行事でなくてもこのような取り組みも可能な範囲でInstagramなどで発信しても良いのではと思う。